

# 柴又地区震災復興まちづくり訓練 第1回 ～復興の手がかりを探そう～

令和6年10月5日（土）14:00～16:30

## 開会

- 1 ガイダンスの振り返り
- 2 講義「葛飾区の被害想定と地域協働復興を知ろう」
- 3 グループワーク〈復興の手がかりを探そう〉

## 休憩

- 4 発表
- 5 講評

## 閉会

## 復興まちづくり訓練の流れ

8/10(土) ガイダンス

復興について学ぶ

- 区の防災対策や訓練の概要をご説明します。
- 被災地での課題を理解し、地域協働復興・事前復興の重要性を学びます。
- 特別講演により「一人ひとりの復興に寄り添う住まいの再建」について、学びます。



10/5(土) 第1回

復興の手がかりを探そう

- 地域協働復興の流れ、体制等について学びます。
- 被害が予想される箇所や復興資源について、事前に区が点検した結果をもとに、柴又地区の復興で重要となる課題や資源を話し合います。

12/14(土) 第2回

被災後の住まいの確保、復興方針を話し合おう

- 訓練用の被害想定を踏まえ、被災者になりきって、生活再建や仮住まいの確保、復興方針について、話し合います。
- 訓練のまとめとして「柴又地区震災復興の進め方」を検討します。

# 1 ガイドンスの振り返り

## 8/10、ガイドンス結果・ふっこう通信・創刊号（資料1）

**柴又地区**  
第1号 創刊号  
**ふっこう訓練通信**  
ふっこう通信発行所 / 発行：柴又地区震災復興まちづくり訓練 編集：（編集：田上・安野） / 電話：03-5554-3180

**柴又地区震災復興まちづくり訓練がはじまりました！**  
8月10日（土）14時から「柴又地区 震災復興まちづくり訓練 ガイドンス」を開催しました。  
『震災復興まちづくり訓練』とは、被災地で震災を想定し、「どのよりに住まいを再建するか」「どんな手段に備わりたいか」を地域の皆さんと区職員で話し合う訓練です。訓練を通して、震災時に地域の皆さんと避難区が一境に復興を進めていくための手引きとなる「柴又地区震災復興の進め方」をまとめる予定です。  
このふっこう訓練通信では、各回の訓練の様子をご紹介します。  
当日の資料などは、区のホームページでご覧いただけます。  
トップページから「手続き・安心・安全」タブから「復興準備」タブから「震災復興まちづくり訓練」について  
ホームページへのアクセスはこちら

**今後の訓練スケジュール**  
会場：柴又地区センター 大会議室  
時間：14時～16時30分

▶第1回訓練 令和6年10月5日（土）『復興の手がかりを探そう』  
▶第2回訓練 令和6年12月14日（土）『被災後の住まいの確保、復興方針を話し合おう』  
※次回訓練からでも参加いただけます。ご興味のある方は、震災準備よりお申し込みください。多くのの方の参加をお待ちしております。  
※8/10のガイドンスまでにお申し込みいただいた方は再度のお申し込みは不要です。

**ガイドンスを実施しました！！**  
ガイドンス（令和6年8月10日）  
『事前復興まちづくりについて学ぶ』の風景  
ガイドンスでは、地域の約11名にご参加いただき、「事前復興まちづくりについて学ぶ」と題して、区の防災・復興対策や訓練概要の説明のほか、特別講師による被災から復興までの流れや事前復興の重要性について学びました。  
訓練の詳細は以下をご覧ください。

**ガイドンスの内容**  
(1) 被災からの復興・生活再開に向けて  
(2) 復興のイメージづくりDVD上映  
(3) 講義  
『事前復興まちづくり訓練とは～希望を叶えるために～』  
東野 繁子 区長特別 中村 一樹 区長  
(4) 今後の予定  
(5) 質疑

**（1）「被災からの復興・生活再開に向けて」**  
震災発生から各地の避難所下地帯が発生した際、避難区では、283人の死者、4,589棟の建物全壊や、137棟の焼失、区内全域で現状化の発生など大きな被害が想定されています。（※）  
・被災直後は、まず自身の安全を確認します。その後一時集合場所にて応急の方々と被害状況を共有し、被害の程度によって、在宅避難または避難場所への避難や避難所生活が判断になります。  
・避難所生活や復興準備には、自治、行政、公民が相互に連携する必要があるとあります。  
※避難所下地帯等による東部の被害発生（令和4年4月東部多摩川決壊、都内周辺地域の浸水）、従来避難は避難所を想定しない。

ガイドンスアンケートのご意見への回答については資料2をご覧ください。

## 柴又地区の一時集合場所・避難場所・避難所一覧

自治町会名	一時集合場所	避難場所	避難所
柴又北野町会	矢付公園	柴又野球場・ 江戸川緑地一帯	北野小学校 桜道中学校
	北野小学校		
	柴又二丁目公園		
	柴又二丁目都住広場		
住吉自治会	住吉第二子供広場		住吉小学校
	住吉小学校		
	住吉公園		
柴又自治会	柴又八幡神社		桜道中学校 柴又小学校 東柴又小学校
	柴又小学校		
	東柴又小学校		
金町マンション自治会	東建金町 マンション公園		柴原小学校
ガーデンプラザ 柴又自治会	ガーデンプラザ 柴又運動広場		北野小学校

5

## 2 葛飾区の被害想定と 地域協働復興を知る

## (1) 葛飾区における震災被害の想定

冬の夕方18時 風速8m/sの場合








(焼失棟数には倒壊棟数を含まない)

想定地震		平成24年公表	令和4年公表	23区全体(令和4年)
		東京湾北部地震	都心南部直下地震	
建物被害	全壊棟数	7,446棟	4,589棟	77,031棟
	出火件数	43件	31件	533件
火災被害	焼失棟数	10,362棟	5,137棟	103,282棟
	死者数	500人	283人	5,722人
人的被害	負傷者数	5,515人	3,439人	84,965人
	停電率	24.5%	15.6%	16.3%
ライフライン被害	固定電話不通率	10.9%	5.5%	5.0%
	ガス供給停止率	67.0%	5.6%	31.2%
	断水率	71.2%	61.1%	34.1%
	下水道被害率	29.7%	7.0%	5.4%
避難者数		200,970人	169,051人	2,719,909人
帰宅困難者数		70,560人	31,738人	3,675,733人
自力脱出困難者数		2,113人	1,239人	29,429人

出典: 東京都防災会議「首都直下地震等による東京の被害想定」令和4(2022年)年5月25日

7

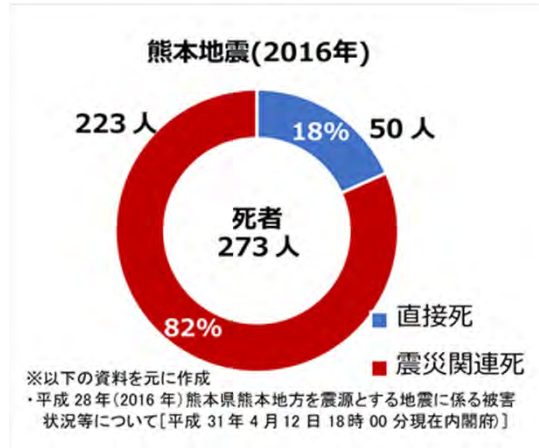
## ライフライン・インフラ 復旧時期の目安

- 電気・・・1週間程度 
- 都市ガス・・・1～2か月程度 
- 上水道・・・1か月以上 
- 下水道・・・1か月以上 
- ◆ 通信・・・2週間程度 
- ◆ 鉄道・・・1か月以上 
- ◆ 道路・・・1週間程度 

8

## ■想定される間接被害

震災被害は直接被害ではありません。  
熊本地震では地震の揺れ等による直接死に対し、日常生活を送れずに亡くなる「震災関連死」が圧倒的に多くなっています。



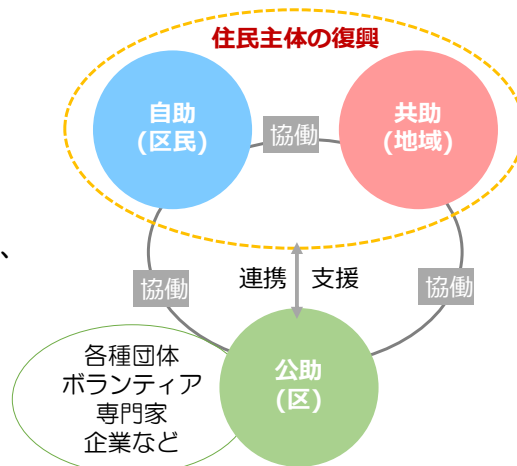
このような間接被害を防ぐため、速やかな復興が必要です。

## (2) 復興における自助・共助・公助

復興を進めるためには、まず被災者である区民自らによる取組が基本となります。(自助)

しかし、被害が大きくなるにつれて、個人では解決が困難な様々な課題が生じます。こうした課題に対処し復興を進める上では、地域が持っている力を生かすことが必要です。(共助)

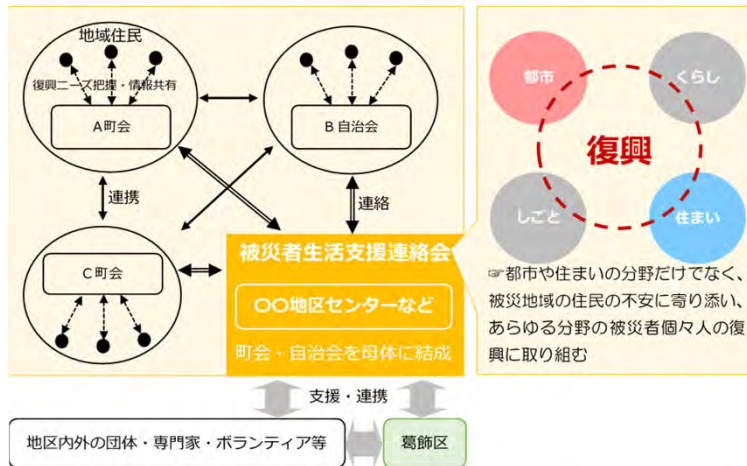
区は、これらの自助・共助に基づく住民主体の復興を地区内外の団体、専門家などと連携して支援します。(公助)



葛飾区では、自助・共助・公助が、責任をもってそれぞれの役割を果たし、連携を強化することで、震災からの地域協働復興を目指します。

### (3) 葛飾区における地域協働復興の仕組み

地域協働復興は、日頃からのコミュニティを中心に進められます。



葛飾区では各町会・自治会が相互に被災生活に関するさまざまな情報を共有し、話し合いを行う会を「被災者生活支援連絡会」と呼び、あらゆる分野の復興に向けて区などと連携することを想定しています。

### (4) 復旧と復興の違い

都市と住まいの復興では、ただ震災前の状態に戻す復旧だけでなく、次の災害で同じ被害を出さないよう、より災害に強いまちや建物に造りなおすことが大切です。

#### 復旧とは...

道路や電気・ガス・水道等の生活に不可欠なライフラインが被害を受けた場合、生活できるように元の状態に戻すことをいいます。

#### 復興とは...

「安全性の向上」「生活環境の向上」「産業の高度化や地域振興」など、被災前に比べて、生活のための環境をより良いものにしていくことをいいます。

被災直後



JR新長田駅前 (1995.1.19)  
写真提供：神戸市

復興後

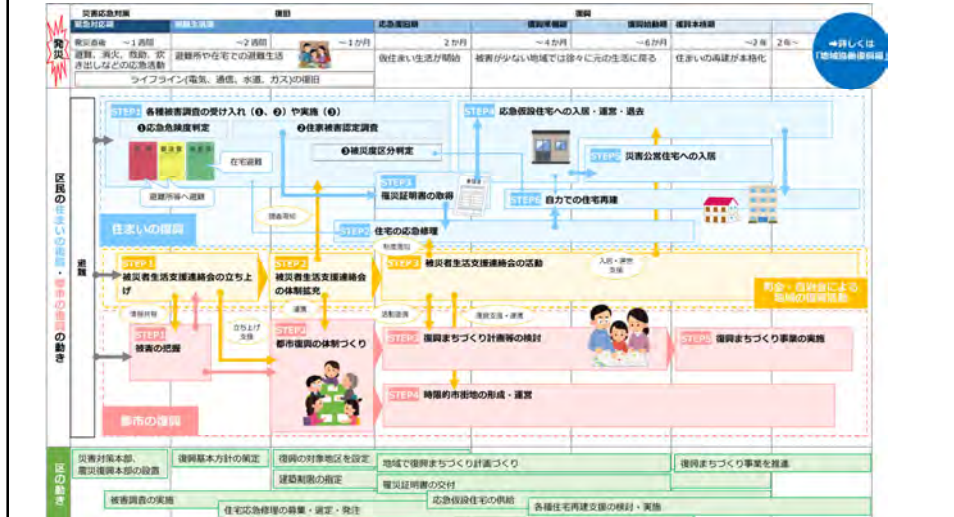


JR新長田駅前 (2006) / 写真提供：神戸市

## ■復興の流れ (住まい・都市)

※資料4をご覧ください

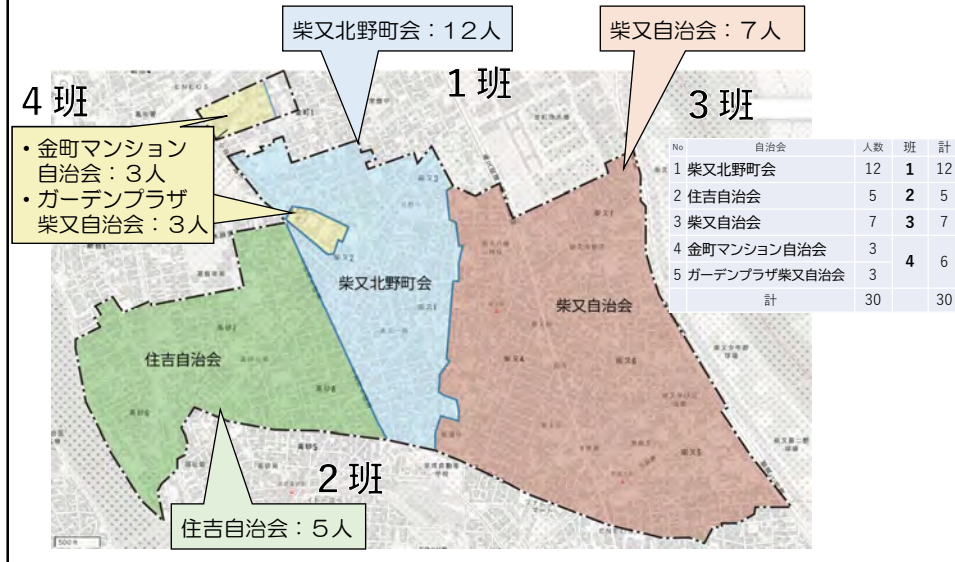
被災直後に避難や救助、消火活動などの緊急対応が行われたのち、避難生活や復旧活動が展開されます。被害が大きい場合に、その後の「まち」や「生活」の復興が最長で5～10年かかると考えられます。



## 3 グループワーク 〈復興の手がかりを探そう〉

## 班分け

今回は、次の4班に分かれて、グループワークを実施します。



## ■柴又地区の歴史

### 〈地名の由来〉

- 721年の戸籍に「嶋俣」という地名が書かれています。「嶋俣（しままた）」が「しばまた（芝俣、柴俣、柴又）」に変換されていきました。
- “嶋俣”の嶋は、土砂がたい積して島のように土地が高くなっている場所のことで、俣は、川が合流したり分かれたりする場所のことです。
- 題経寺（柴又帝釈天）は、1629年に建てられたと伝わる歴史のあるお寺です。
- 映画「男はつらいよ」の舞台としても有名で、多くの観光客でにぎわっています。



柴又帝釈天と参道(昭和時代)

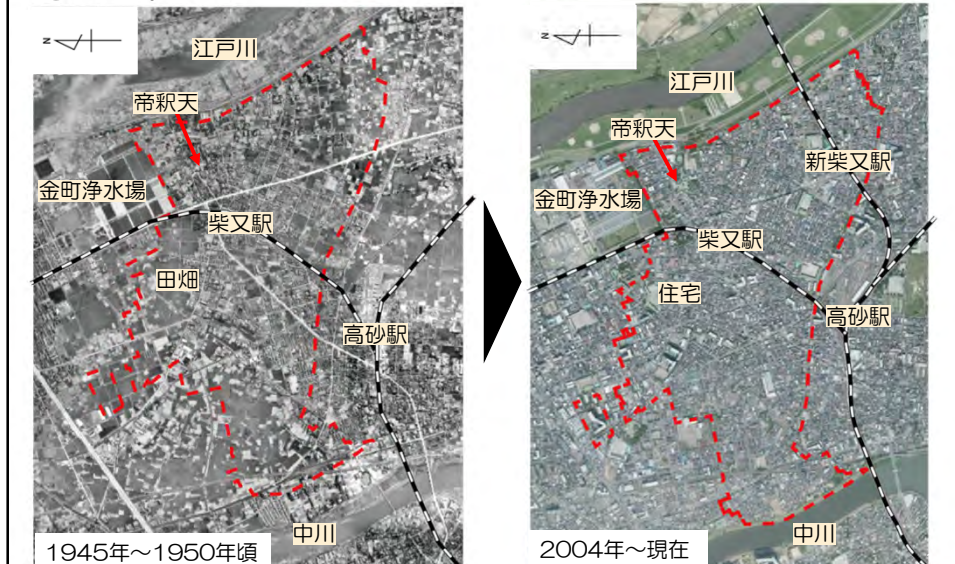


柴又駅(1985〔昭和60〕年)



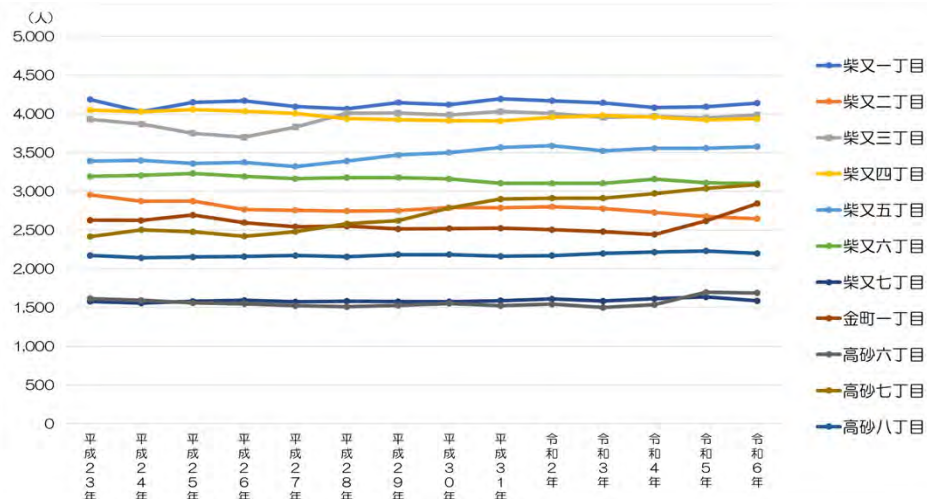
## 市街地の変遷

1945年頃には田畑であった地区北側の土地に徐々に市街地が形成されていきました。



## 人口の推移

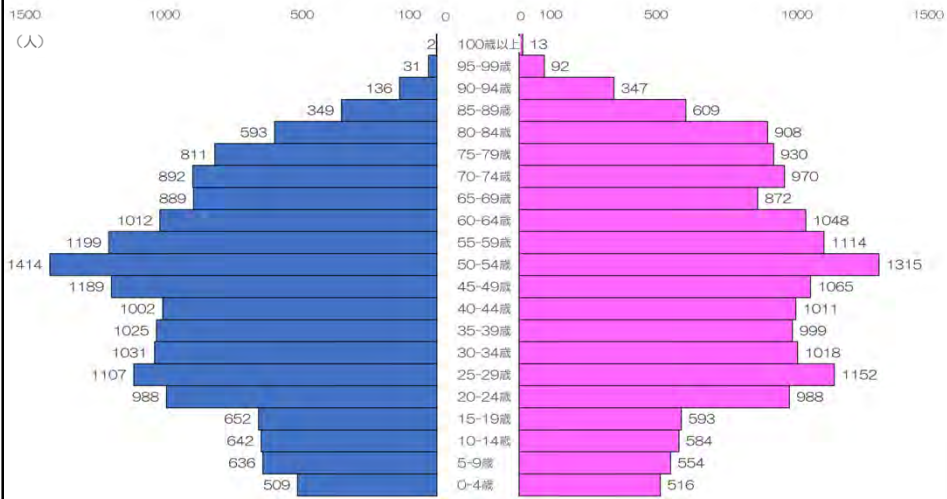
「住民基本台帳/葛飾区(各年6月1日)」より作成



- 人口は、地区全体（現状：約3万3千人）で見ると、令和5年以降増加傾向にあります。
- 高砂7丁目の人口は平成26年以降、増加傾向にあります。

## ■世代別人口

「住民基本台帳葛飾区(令和6年8月1日)」より作成

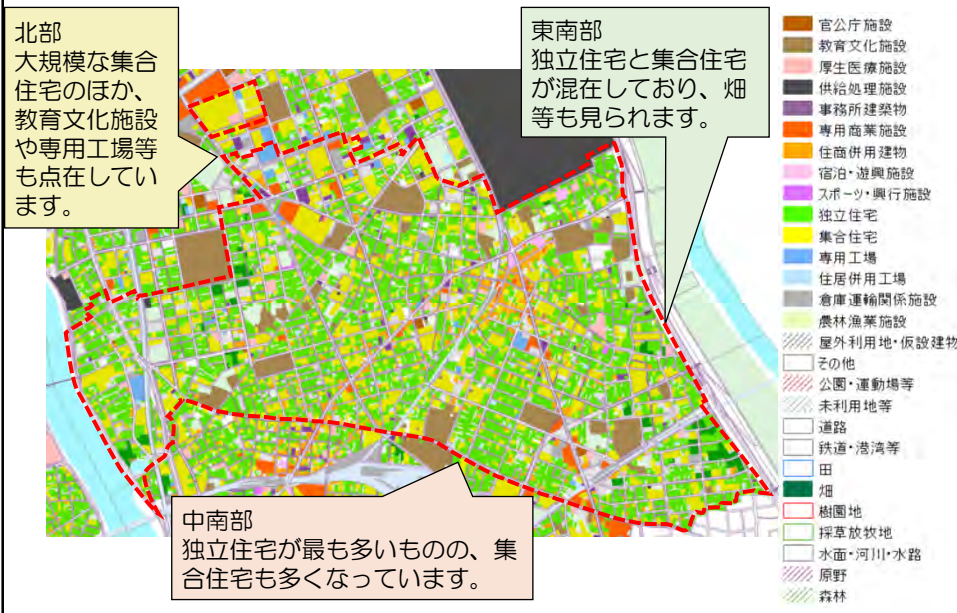


年代別では50～54歳が最も多く、現状のまま推移した場合、将来的に高齢化がより高まる可能性があります。男女とも25～29歳が前後世代より多くなっているのも特徴です。

19

## ■土地利用の現況

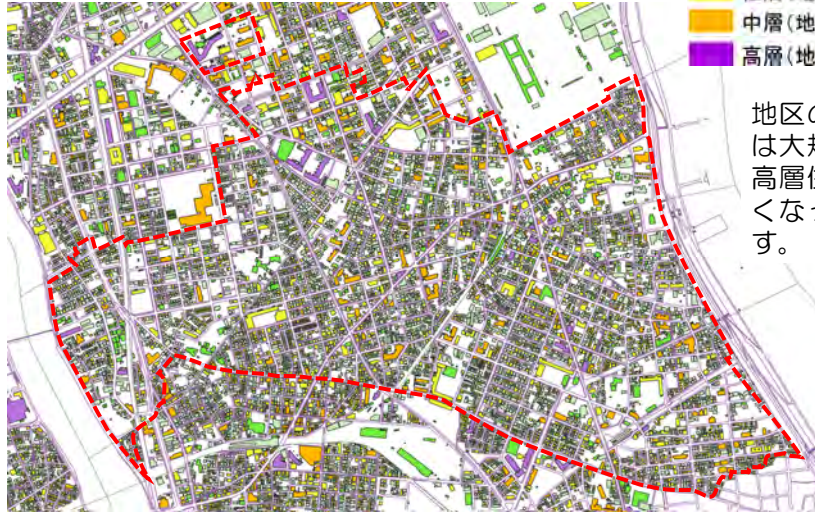
「令和3年度土地利用現況調査/東京都」より作成



## ■建物の現状（階数）

「令和3年度土地利用現況調査/東京都」より作成

- 低層（地上1階）
- 低層（地上2階）
- 低層（地上3階）
- 中層（地上4～7階）
- 高層（地上8～15階）

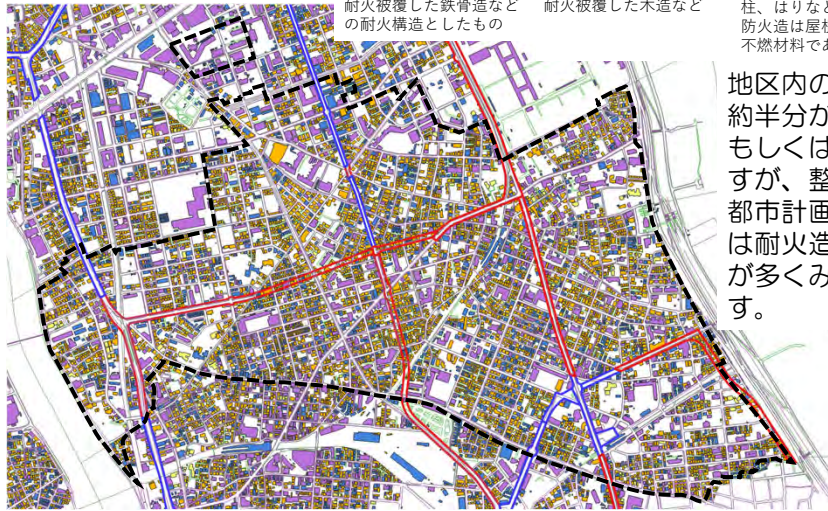


地区の北側には大規模な中高層住宅が多くなっています。

## ■建物の現状（構造）

「令和3年度土地利用現況調査/東京都」より作成

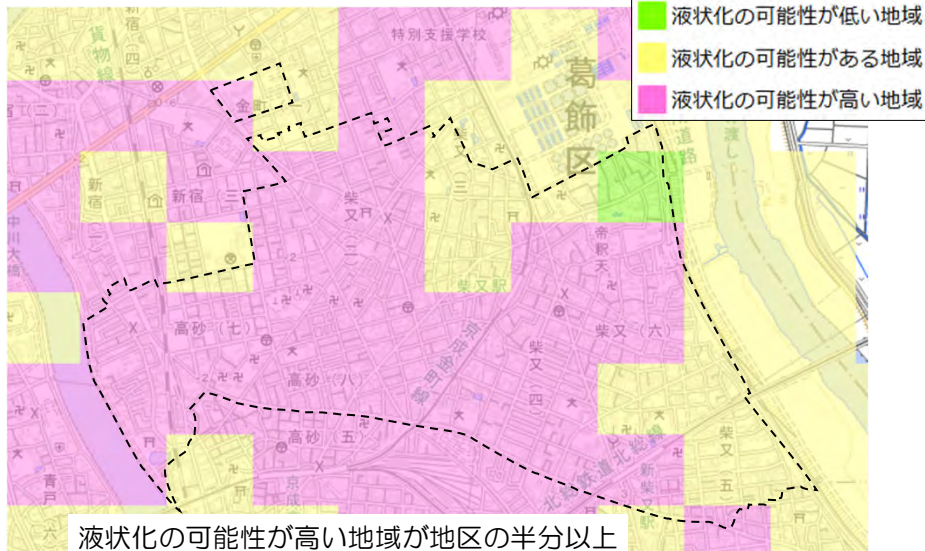
- 都市計画道路（事業完了）
- 都市計画道路（事業未完了）
- 耐火造  
柱、壁、屋根などが、鉄筋コンクリートや耐火被覆した鉄骨造などの耐火構造としたもの
- 準耐火造  
柱、壁、屋根などを不燃材料としたもの、耐火被覆した木造などの
- 防火造
- 木造  
柱、はりなどが木造  
防火造は屋根及び外壁が不燃材料であるもの



地区内の建物の約半分が防火造もしくは木造ですが、整備済の都市計画道路には耐火造の建物が多くみられます。

## ■液状化被害想定

「東京の液状化予測図 令和5年度改訂版」より作成



## ■地震に関する地域危険度測定調査（第9回）/東京都

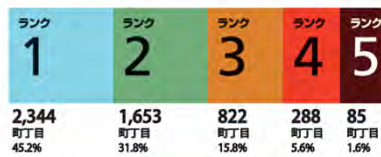
都内の市街化区域の5,192町丁目について、各地域における地震に関する危険性を推定。



- 建物倒壊危険度（建物倒壊の危険性）
- 火災危険度（火災の発生による延焼の危険性）
- 総合危険度  
（上記指標に災害時活動困難度を加味して総合化したもの）

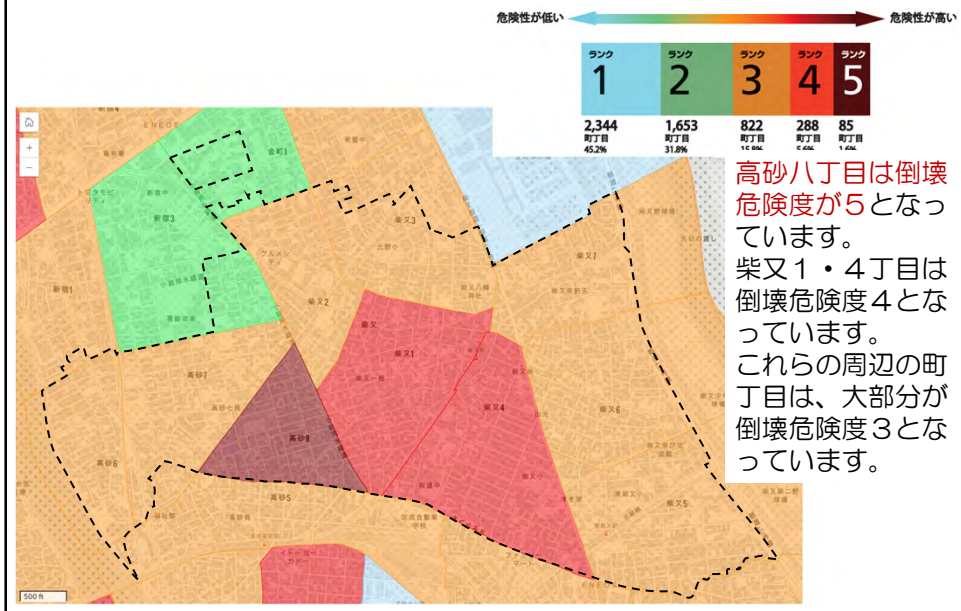
なお、地域危険度はそれぞれの危険度について、町丁目ごとの危険性の度合いを5つのランクに分けて、以下のように相対的に評価しています。

危険性が低い ← → 危険性が高い



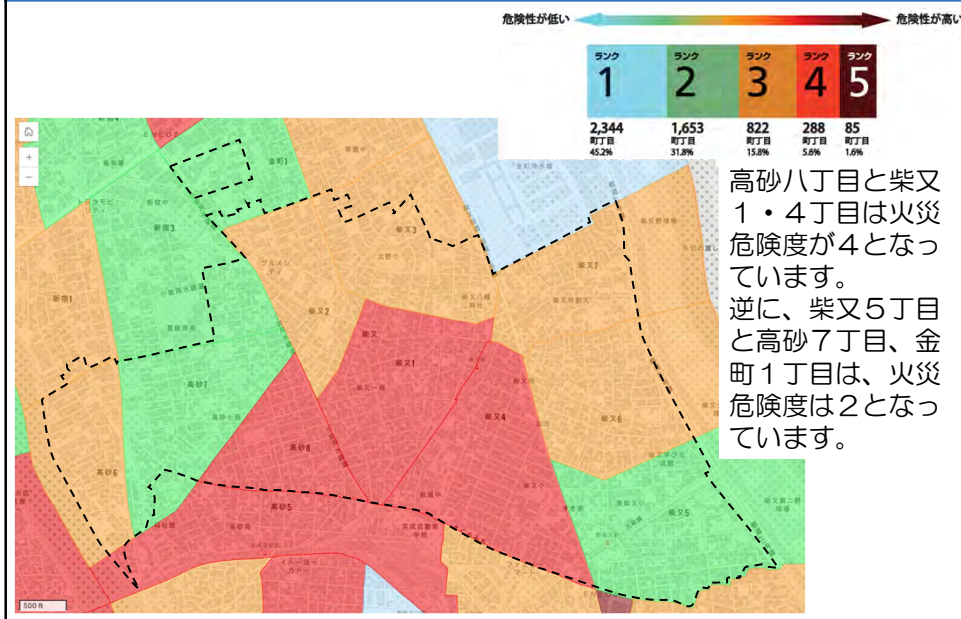
## ■地域危険度（倒壊）

「地震に関する地域危険度測定調査(第8回)/東京都」より作成



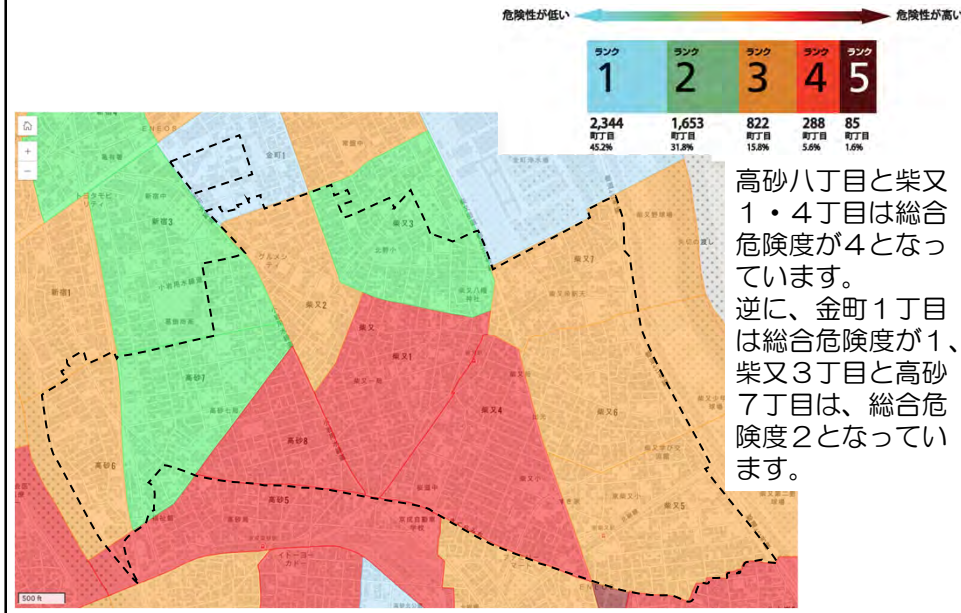
## ■地域危険度（火災）

「地震に関する地域危険度測定調査(第8回)/東京都」より作成



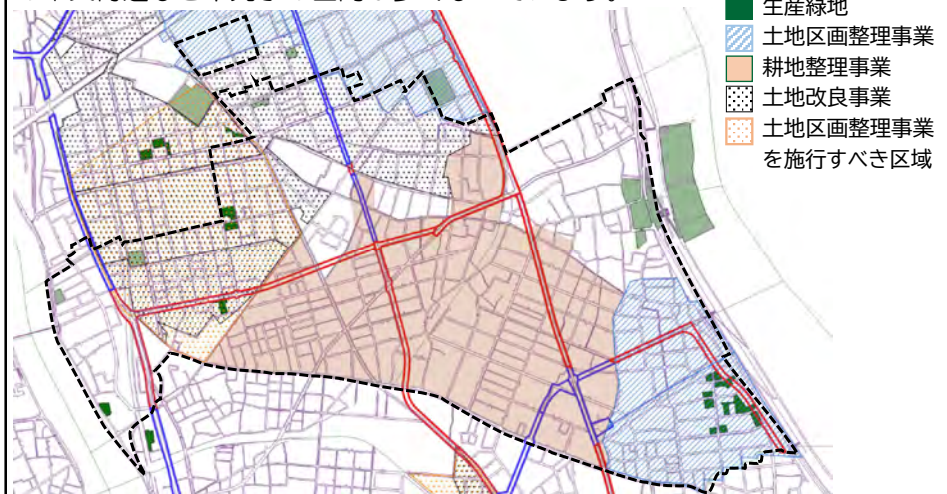
## ■地域危険度（総合）

「地震に関する地域危険度測定調査(第8回)/東京都」より作成

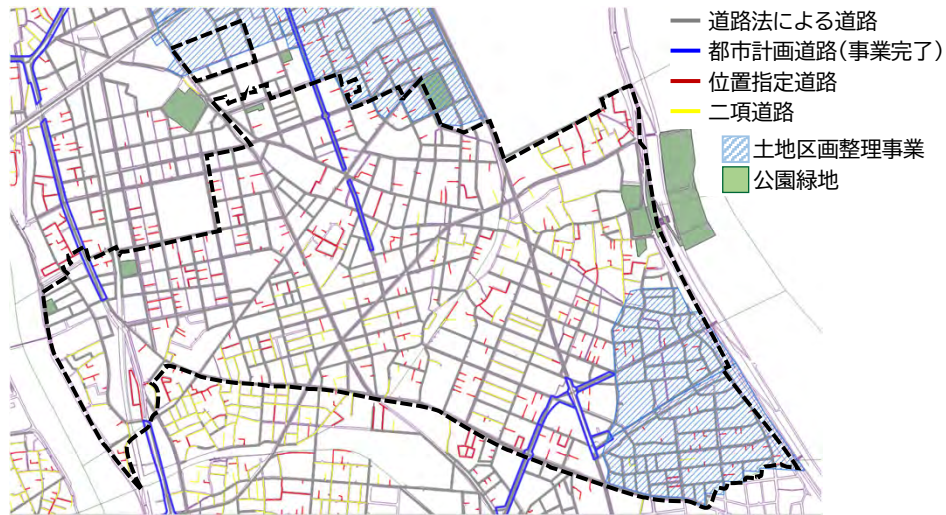


## ■都市計画の位置づけ

高砂7丁目が「土地区画整備事業を施行すべき区域」に指定されています。また都市計画道路については、新柴又駅付近以外の柴又街道など未完了の区間が多くなっています。



## ■道路現況



土地区画整理事業が行われていない地区では、「道路法による道路」以外の「位置指定道路」や「二項道路」が多くみられます。「位置指定道路」の中には行き止まり道路が多くなっており、「二項道路」は幅4m以下の狭い道です。

## ■公園・児童遊園



公園・児童遊園等が21か所あります。地区内の防災活動拠点は高砂七丁目公園のみですが、地区の北側に隣接する金町ときわ公園も防災活動拠点です。

### ◆公園・児童遊園等

	名称
公園	柴又公園
	矢付公園
	新宿公園
	高砂七丁目公園
	住吉公園
児童遊園等	柴又二丁目公園
	柴又八幡神社児童遊園
	柴又北児童遊園
	柴又七丁目児童遊園
	柴又第一児童遊園
	柴又とまり木児童遊園
	柴又六丁目児童遊園
	柴又四丁目児童遊園
	桜道児童遊園
	新柴又児童遊園
	ひばりが丘児童遊園
	北野児童遊園
	柴原児童遊園
	住吉児童遊園
	住吉第二子供広場
	柴又二丁目都住広場

## まちあるきの結果報告（概要）

柴又地区の歴史、現状やまちあるきの結果から各班の地域の概要や、地区全体にかかわる施設を整理しました

- マンション単位の自治会です。
- マンション敷地内の広場を災害時にどう活用できるでしょうか。
- 周辺には、防災活動拠点の金町ときわ公園や新宿交通公園もあります。

- 地区の南部には、古い建物が密集したエリアがあります。
- 北野小学校の周辺には、比較的広い駐車場や空地など、災害時に活用できそうな場所が見られます。

4 班

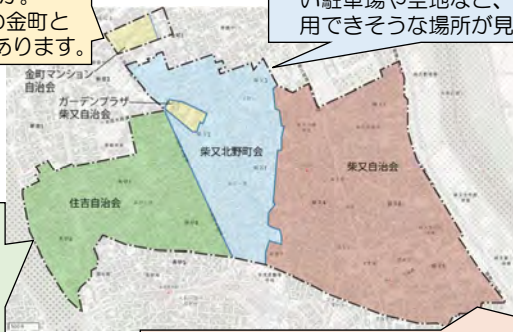
1 班

- 防災活動拠点の高砂7丁目公園のほか、住吉第二子供広場も活用できそうです。
- 地区中央を通る都市計画道路は現在、未整備です。
- 高砂八丁目は倒壊危険度がランク5で、4m未満の道路が残っています。

2 班

3 班

- 地域のシンボル：帝釈天があるほか、寅さん記念館や山本亭等が立地する柴又公園もあります。
- 地区の南側には、防災兼用農業井戸がある生産緑地や防災協力農地があります。
- 一部には古い建物が密集したエリアがあります。



## まちあるきの結果報告（北側）・・・1班、4班

※資料5「まちあるき結果」をご覧ください

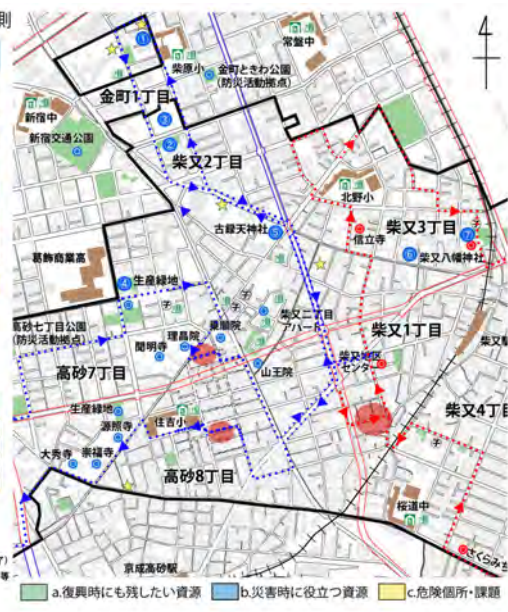
柴又地区まちあるき結果・・・北側

①洪水緊急避難場所 ・都営アパート	②柴又二丁目公園 ・一時集合場所
③京成バスの車庫	④生産緑地
⑤古観天神社	⑥古い住宅が密集
⑦広めの駐車場	⑧柴又八幡神社 ・一時避難場所

〓 まち歩きルート  
 子 保育園・幼稚園  
 ● ポイント  
 ● 密集エリア  
 ☆ 自治町会本部  
 指定避難所  
 洪水緊急避難場所

〓 主要建物  
 〓 地区範囲  
 〓 都市計画道路  
 〓 都市計画道路（事業未完了）  
 〓 公園・生産緑地・児童遊園等

〓 a.復興時にも残したい資源  
 〓 b.災害時に役立つ資源  
 〓 c.危険個所・課題





## まちあるきの結果報告（西側）・・・2班、4班

※資料5「まちあるき結果」をご覧ください



## まちあるきの結果報告（東側）・・・3班

※資料5「まちあるき結果」をご覧ください



## まちあるきの結果報告と意見交換

まちあるきの点検項目（資料6）に基づき、各班で区が事前に点検したまちあるきの結果を各班で報告し、意見交換を行います。意見交換は以下の流れで進めていきます。

### STEP1

各班の進行役がまちあるき結果のマップと写真を用いて、災害時の危険性や、復興の際どのように使えそうか、などについて問いかけます。

### STEP2

皆さんには進行役の問いかけに対して、意見を出してもらいます。

例えば・・・

- ・危険なので復興の際はこう改善したい
- ・まちの特徴として将来に残していきたい
- ・応急仮設住宅を建設できそう
- ・ほかにもこんな資源・危険性があるよ

マップにない場合は  
ストリートビューで確認！

など

またその際、疑問等があれば、進行役に聞いてみてください。

### STEP3

皆さんからの意見を踏まえ、各班の進行役が、**a.復興時にも残したい資源**や **b.災害時に役立つ資源**、あるいは **c.危険個所・課題**等について説明しながら進め、地域の良いところや課題をまとめていきます。

## 4 発表

## 5 講評

### 《次回の予定》



**日時:** 12月14日(土)  
14:00~16:30

**場所:** 柴又地区センター 大会議室

**内容:** 被災後の住まいの確保、  
復興方針を話し合おう

※今後、新型コロナウイルス感染拡大により開催が困難と判断される場合には、  
訓練の中止または内容等を変更する場合があります。

- 名札
- アンケート

は、受付の回収BOXに提出をお願いします！



第1回訓練、  
お疲れ様でした！

